



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	Towards implementation of traceability for shrimp supply chain in Vietnam : economic analysis and global trade potential consideration [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	Khuu, Thi Phuong Dong
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(水産科学)
Dissertation Number	甲第13734号
Issue Date	2019-09-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/75820
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Khuu_Thi_Phuong_Dong_review.pdf, 審査の要旨



学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称:博士(水産科学)

氏名:Khuu Thi Phuong Dong

審査委員	主査 教授	高 津 哲 也
	副査 教授	松 石 隆
	副査 教授	宮 澤 晴 彦
	副査 助教	東 条 斉 興
	副査 講師	齋 藤 陽 子 (国際食資源学院)

学 位 論 文 題 目

Towards implementation of traceability for shrimp supply chain in Vietnam:
economic analysis and global trade potential consideration

(ベトナムにおけるエビ供給連鎖へのトレーサビリティ導入に向けて:経済分析と国際的貿易潜在力の考察)

食品の国際貿易が盛んになる中、輸入食品の食の安全に対して注目が集まっている。養殖エビは、魚介類の国際貿易品目の中で重要である。ベトナムは養殖エビ貿易のなかで大きなシェアを占め、アメリカ、ヨーロッパ、日本等に輸出されている。これらの輸入国は輸出国に対して、トレーサビリティを含む品質管理の認証を取することを求めているが、ベトナムではエビ養殖のトレーサビリティが普及していない。本研究では、現地調査により、ベトナムの養殖エビの流通過程を明らかにするとともに、定量的面接調査にもとづくコスト・ベネフィット分析から認証導入費用等を明らかにして、経済的側面からベトナムの養殖エビにトレーサビリティを導入する条件を検討した。

調査により、養殖エビの流通経路を調べた結果、小規模養殖業者のエビを毎日少量ずつ集めるエビ収集業者が、養殖業者ごとにエビを仕分けせずに収集し、収集先や納入先を適宜変更するために、トレーサビリティ導入のネックになっていることがわかった。また、コスト・ベネフィット分析により、認証導入による経済的なメリットを検討した結果、現状の買取価格では、認証導入によるメリットが得られないことがわかった。

これらの結果から、小規模養殖業者に至るまでトレーサビリティを導入するためには、エビ収集業者を組織化し、加工業者との交渉力をつけ、収集先、納入先の変動を少なくするとともに、認証がある養殖場からの加工場の買い取り価格を上げるなどして、認証取得のインセンティブをつける必要があることがわかった。

本研究の結果は、零細養殖業者の多い中、発展の著しい東南アジアの養殖製品管理に寄与し、世界への魚介類供給における食の安全の確保に寄与するものと期待される。よって申請者は、博士(水産科学)の資格があるものと判定した。